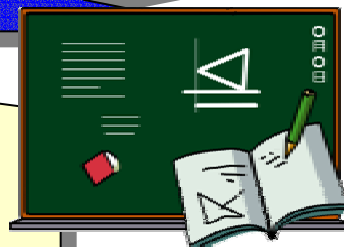


平成19年度 特別研修員研修「くま教師塾」 授業実践のまとめ（算数・数学班）

前橋市立桃川小学校	佐藤 健	教諭
渋川市立渋川西小学校	小菅 達也	教諭
富岡市立一ノ宮小学校	黛 紀行	教諭
草津町立草津小学校	唐沢 友之	教諭
邑楽町立中野小学校	竹澤 政伺	教諭

授業実践とその参観に臨む視点

算数好きな児童を育てるための操作的な活動
算数における豊かな考え方を引き出すための ICT 活用の工夫
児童の個別学習に対応した支援と学習意欲向上を目指した働きかけ
数学的な考えを引き出すためのグループ活動
自力解決を図り表現する力を高める指導の工夫



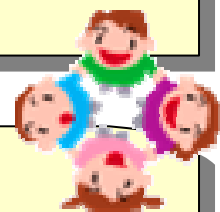
授業実践とその参観から学んだこと

操作的・体験的活動

操作的な活動を通して、抽象的な内容を具体的なものとして児童が捉えやすくなった。
操作活動によって理解が深まり、学習意欲の向上につながった。また、問題解決に向けての見通しが立てやすくなった。

グループ活動

小集団で自分の考えを伝え合うことによって、多様な考えに触れることができた。
学び合う活動を通して新たな考えに気づいたり、お互いの考え方を深め合ったりできた。
全体発表では発表の機会が持てない児童も、小集団で発表することができ、全員が自分の考えを表現することができた。



個別支援

机間巡視によって児童一人一人を理解し、良い考えを取り上げて発表させることができた。また、つまづきも発見でき、個に応じた適切な支援ができた。
ホワイトボードや ICT 等の教具を利用することは、課題解決の際の個別支援に有効であった。
児童の実態に応じた授業を展開することができた。
グループ活動において、教師の適切な助言により、児童同士の「教え合い」活動につなげることができた。

